

ID No.	2001
研究課題名	細胞表層プロテオリシスによるがん悪性化機構の解明
研究代表者	越川 直彦 (神奈川県立がんセンター・部長)
研究組織 受入教員 研究分担者	尾山 大明 (東京大学医科学研究所・准教授) 宮城 洋平 (神奈川県立がんセンター・部長) 菊地 慶司 (神奈川県立がんセンター・主任研究員) 秦 裕子 (東京大学医科学研究所・技術専門員)
研究報告 細胞表層のダイナミックスなシグナル膜蛋白質のプロセッシングを介した新たながん悪性化進展制御の分子機序を見いだした。そのプロセッシングが他がん種で起こることを示し、その一般性を示すことを目的とした。結果、大腸がん細胞よりプロセッシング断片を単離・精製し、その精製標品の N 末端切断配列を LC-MS/MS で同定した。切断配列はこれまでに肺がん細胞を用いて報告したものと同一であった。このことから、MT1-MMP によるこのシグナル膜蛋白質のプロセッシングが癌腫を越えて起こる一般的な現象であることを見いだした。	